報告 広島県支部　定時支部総会を開催

笑顔溢れる「情報交換・交流の場」

当協会広島県支部（三原一訓支部長、支部会員88人）は、5月14日（水）、TKPガーデンシティPREMIUM広島駅前（広島県広島市）において「第33回定時支部総会」を開催した。同支部は今年も「支部研修」「定時支部総会」「懇親会」とフルスペックでの開催となった。

［プログラム］

15：00～15：50「支部研修」

16：00～16：50「第32回定時支部総会」

17：00～19：00「懇親会」

参加者は熱心に聴講

歯科業界の現状を知る

総会に先立ち、「小規模歯科医院への指導実例」と題して令和7年度第1回支部研修を実施。講師は、広島県支部会員/認定登録 医業経営コンサルタント/当協会歯科経営専門分科会委員長の坪島秀樹氏（(株)だいのう 代表取締役）が務めた。

研修講師を務めた広島県支部の坪島秀樹氏

坪島氏は、①歯科業界のいまと今後、②小規模歯科医院の特徴と問題点、③予防増患、④自費増収の指導事例、⑤レセプト1.6倍、自費4倍への取り組みなど、数多くのデータを基にわかりやすく解説した。そして、医科と歯科の大きな違いが重症化予防としての受診にあること、今後の課題として医科との連携による認知症の早期発見、また口腔ケアの効果を誤嚥性肺炎予防へとつなげていく将来予想と小規模歯科医院の特徴と問題点を述べた。

支部活動や新入会員獲得のアイデア出しなども活発に

支部総会では三原一訓支部長が議長に選任され、「令和6年度事業報告及び決算承認の件」「令和7年度事業計画（案）及び予算（案）の件」「次期役員選任方法案」が審議され承認された。

総会後には懇親会が、藤井副支部長の挨拶と乾杯で和やかにスタートした。杯を重ね出席者全員があらためて自己紹介と近況報告を行い、それぞれ専門分野について会員同士の情報交換を行った。支部活動や新入会員獲得のアイデア出しが、予定時間いっぱいまで活発に続き、三原一訓支部長が笑顔の一本で絞めた。

（広島県副支部長・支部広報連絡員　藤井 康彦）

支部総会懇親会にて